

QRコードを読み取っていただくとホームページを見ることができます。小値賀小情報を様々に発信中です！



小値賀っ子だより

小値賀町立小値賀小学校 QR



スマートフォンからはこちら



「島から日本一楽しい学校を」 令和5年3月1日発行 第13号 校長 小川 広孝

子供たちから教えられた1年間・次なるステージへ

3月に入りました。3月は、厳しい冬に耐えていた草木がいよいよ芽吹き、生い茂る温かな春の季節です。しかし、同時に、3月は別れの季節でもあります。この別れという節目を経て、人は成長していきます。3月も、一日一日を大切にしながら、歩みを続けて参ります。

さて、今年度、小値賀小学校では、「自信をつける教育」を重点目標としてきました。その中で、授業をはじめ、学級での生活、行事、一貫教育の取組、クラブ活動に委員会活動等、様々な活動を通して、子供が、考え、感じ、時には汗を流しながら、同学年・異学年、中・高生と共に協働し合いながら頑張る・躍動する・思い悩む等の様々な場面をたくさん目にしてきました。

子供と共に過ごす、共に学ぶ私たち教職員にできることは、子供を認め、励ましながら、一人一人の背中を押すことです。決して教え込むことではありません。子供が自ら学ぶことができる、答えを出すことができる「安心感」をつくることです。この営みは御家庭でも同様だと思います。とにかく子供に『安心感』を与える、感じさせることが第1優先だと考えます。そのことを、子供たちから教えられました。

小値賀小の子供たちの長所・強み・素晴らしさは、何と言っても「素直さ」だと思います。一人一人の子供たちはとても素直です。時にはそのように見えないこともありますが…。しかし、根本的な良さを私たち大人がしっかりと理解し、子供が育つ環境づくり、愛情表現をしていけば、もっともっと素敵な小値賀っ子が育つのだと確信しています。

また、一方で、子供たちの弱点は「失敗を気にしすぎる」ことではないかと考えます。この1年間、子供たちと過ごす中で、そう感じるが多かったです。これも私の目の前で子供たちが見せてくれた事実から教えられたことです。

ですから、次年度に向けてやるべきことが見えてきました。

- ①子供に「自信をつける教育」を継続していくこと。
- ②子供に「安心感」を感じさせ、与え続けること。
- ③失敗しても、大丈夫！何度でも一緒にやり直そう！という風土をつくること。

最後になりますが、子供たちの元気な学校生活を御家庭で支えてくださった保護者の皆様、登下校をはじめ、子供たちの安全を見守ってくださった地域の皆様、学校の諸活動に御理解と御協力をいただきました関係者の皆様方に心より御礼を申し上げます。

1年間、本当にありがとうございました。